



パワードサブウーファー

HK AUDIO SONAR 115 Sub D

取扱説明書

HK AUDIO 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。





安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- 必ず AC100V(50Hz/60Hz) の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となります。また、電源コードは他の機器には使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の着脱は電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。
- 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
- 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源プラグには触れないでください。

注意

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 事前に機器の重量を確認し、けがをしないように持ち運びや設置を行ってください。
- 斜面や不安定な場所に設置しないでください。転倒 / 落下によるけがや故障の原因となります。また、滑りやすい面に置くと音の出力エネルギーによってスピーカーが動いてしまう恐れがあります。ゴムマットを下に敷くなどの滑り止め対策を施してください。

■以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。

- ・直射日光のあたる場所
- ・温度の特に高い場所、または低い場所
- ・湿気の多い場所
- ・ほこりの多い場所
- ・振動の多い場所
- ・塩害や腐食性ガスが発生する場所

■通気性の良い場所に設置し、通気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。

■機器の移動は、電源コードや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。接続したまま移動すると、けがや故障、ケーブル破損の原因となります。

■配線は、全ての機器をコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。接続したまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。

■濡れた手で、電源コードや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。

■電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。また、機器の電源を ON にする時は、スピーカーの破損を防ぐために一番最後に本機の電源を入れてください。電源を OFF にする時は、一番最初に電源を切ってください。

■大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。

■過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

梱包内容の確認

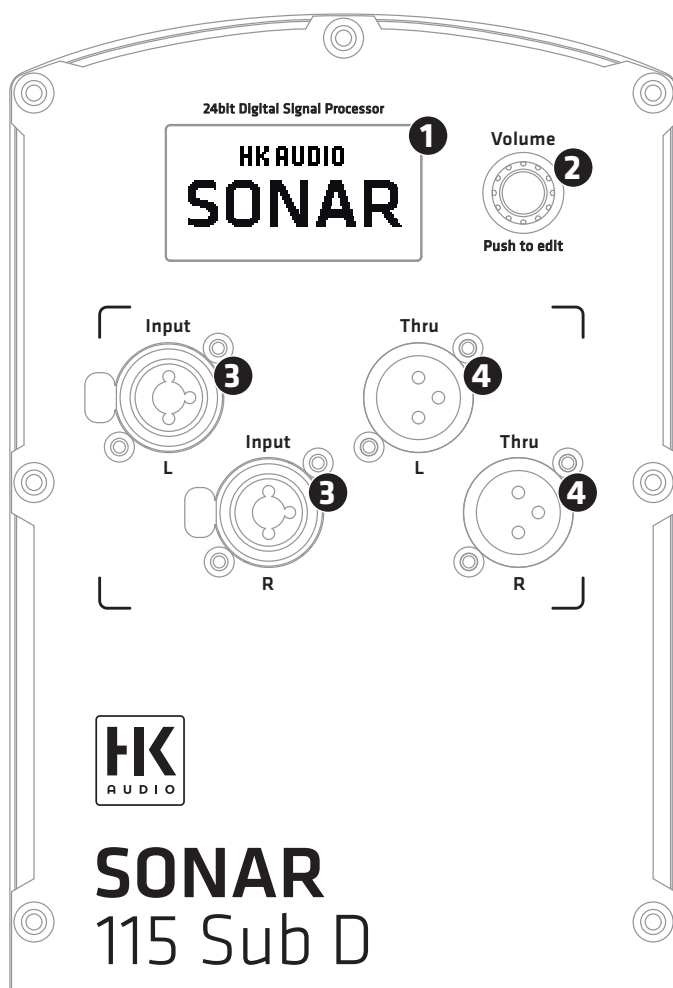
パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

- 本体
- 電源ケーブル
- 当取扱説明書

目次

安全上のご注意	2
梱包内容の確認	4
1. 各部の機能と名称	5
2. DSP メニュー	7
3. セッティング例	10
4. 製品仕様	11
5. 保証について	12

1. 各部の機能と名称



① ディスプレイ

音量レベルを表示します。また、DSP 機能にアクセスできます。詳しくは7ページの「② DSP メニュー」をご覧ください。

② マスター (push to edit)

本機の音量調節ができます。ディスプレイには現在の値が表示され、調整範囲はミュートから+10dB までとなります。

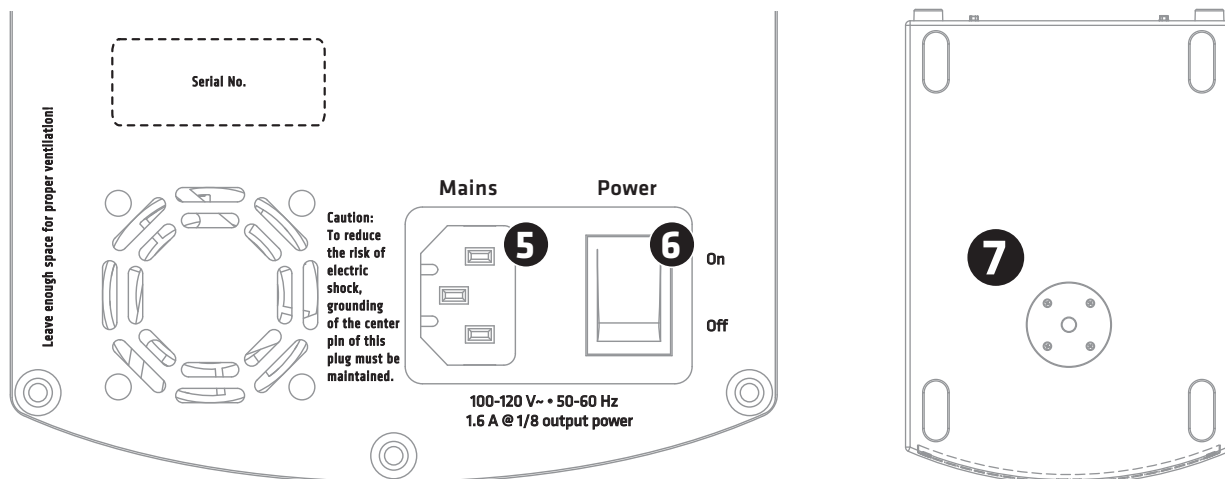
また、このつまみを押すとディスプレイ表示内の DSP メニューにアクセスできます。詳しい機能、操作は7ページの「② DSP メニュー」をご覧ください。

③ 入力端子 (L/R)

XLR (バランス)、フォンプラグ (バランスまたはアンバランス) どちらのケーブルも接続できるコンボタイプの入力端子です。

④ スルー端子 (L/R)

入力された信号をそのまま、もしくは X-Over で設定された信号を出力する XLR バランス出力端子です。



⑤ 電源端子

付属の電源ケーブルを接続してください。

⑥ 電源スイッチ

電源の ON/OFF を切り替えるスイッチです。本機の電源を入れると、直近で使用した DSP 設定が読み込まれます。ディスプレイにスタート画面が表示された後、数秒で動作可能な状態になります。

※電源スイッチをオフにすると、DSP 設定が自動的に保存されます。

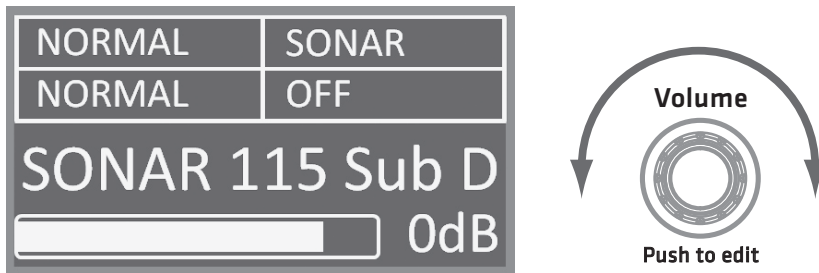
⑦ ポールマウント (本体上面)

M20 ネジのスピーカーポールが取り付けできます。

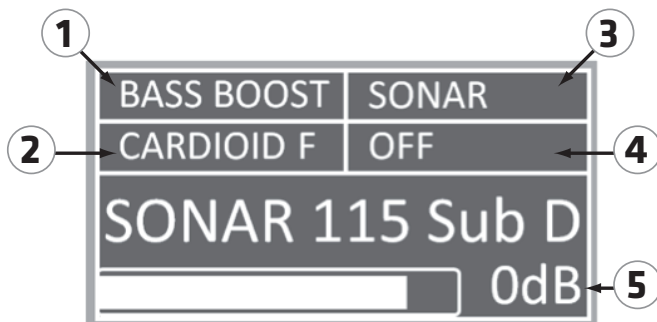
2. DSPメニュー

マスターつまみを押すと DSP メニューにアクセスできます。マスターつまみを回してメニューを選択し、その位置でマスターつまみを押すと、選択したメニューの操作、調整ができるようになります。

約 8 秒間、操作をしない場合、トップの画面に戻ります。これは、意図しない編集や操作ミスを防ぐための仕様です。

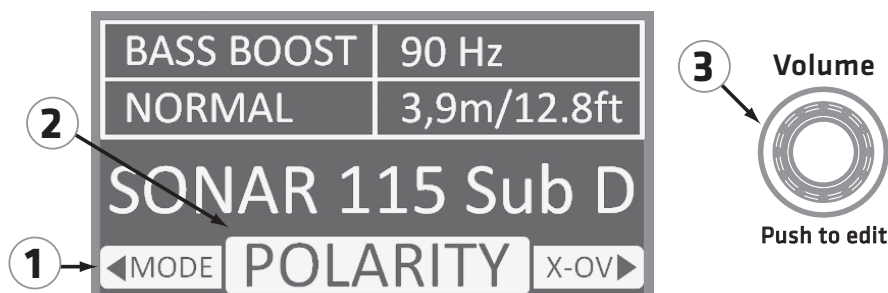


① ディスプレイ表示



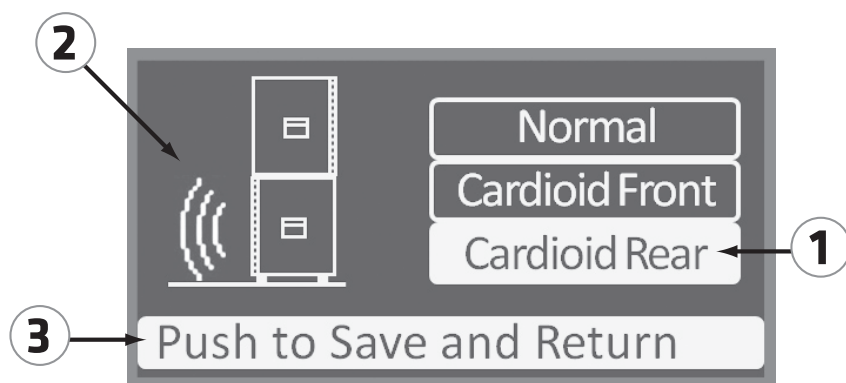
- ① Bass Boost ステータスインジケータ (Normal または Bass Boost)
- ② Mode ステータスインジケータ (動作モード: Normal、Cardioid Front、Cardioid Rear)
- ③ X-Over ステータスインジケータ (クロスオーバー周波数: 60 Hz - 150 Hz 可変、または SONAR)
- ④ ディレイインジケータ (オフ ~ 10m/33ft)
- ⑤ ボリューム表示 (ボリュームつまみを回して出力レベルを調整)

② メニューリスト



- ① ボリュームつまみを回して、メニューにアクセスします。
- ② 選択されている項目が表示されます。
- ③ ボリュームつまみを押して選択した項目を確定し、メニューオプションに入ります。

③ メニューオプションの選択



- ① 選択されているメニュー
- ② 選択されている項目のビジュアル表示
- ③ ボリュームつまみを押して、このメニューオプションを保存して終了します。

④ メニューアイテム

① Exit

DSP メニューを終了し、ボリューム操作に戻ります。約 8 秒間、ボリュームつまみを操作しないと自動的に戻ります。

② Bass Boost (Off, On)

このオプションを有効にすると、40Hz 付近のローエンドがブーストされます。

※ "Cardioid Front" と "Cardioid Rear" モードでは、このパラメータへはアクセスできません。

③ Mode (Normal, Cardioid Front, Cardioid Rear)

標準的な動作モードと、カーディオイドセットアップ用に最適化された2つのプリセットから選択できます。

④ Polarity (Normal, Reverse)

サブウーファーを他のスピーカーの位相と合わせるときに便利な機能です。Reverseを選択すると、極性が180°反転します。

※ "Cardioid Front" と "Cardioid Rear" モードでは、このパラメータへはアクセスできません。

⑤ X-Over (SONAR or 60 Hz ~ 150 Hz)

クロスオーバー周波数 - 入力信号を別のスピーカーに送る際に、カットする低域周波数を調整します。接続するスピーカーに適した周波数を設定するか、または SONAR プリセットを選択して、SONAR Xi フルレンジスピーカーとの組み合わせに適した値に合わせます。

※ "Cardioid Front" と "Cardioid Rear" モードでは、このパラメータへはアクセスできません。

⑥ Delay (OFF ~ 10m/33ft)

サブウーファーの出力信号を遅延させ、他スピーカーの出力信号に合わせるオプションです。

※ "Cardioid Front" と "Cardioid Rear" モードでは、このパラメータへはアクセスできません。

⑦ Front LED (Off, On, Limit)

フロント LED の消灯、点灯、リミッター動作の表示を選択することができます。

※ LED が赤く点滅する場合は、リミッターが信号のピークに反応していることを示します。ボリュームつまみでレベルを下げてください。

⑧ Display Dim (Off, On)

ディスプレイを点灯させる必要がない場合に、このオプションを On にするとディスプレイを暗くすることができます。このオプションが Off に設定されている場合、ディスプレイは常時点灯します。

※ この設定は保存されず一時的なものとなります。常にディスプレイを暗くしたい場合は、電源を入れる度にこのオプションを設定してください。

⑨ Reset (No, Yes)

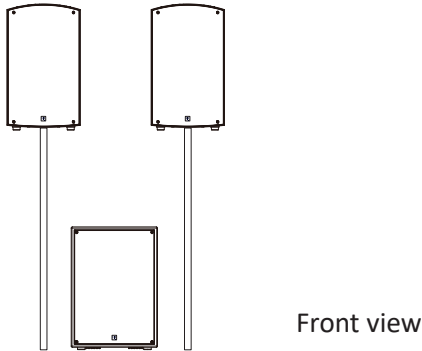
すべてのパラメータを工場出荷時の状態に戻します。"Reset to default settings. Are you sure?" と表示された後に「Yes」を選択すると実行されます。

3. セッティング例

SONAR Xi シリーズとのセッティング例です。

SONAR Xi 側の DSP 設定で「Ext. Sub: On」モードを選択するだけで、SONAR 115 Sub D とのベストなセッティングが可能です。

① 2.1 ステレオシステム（1台のサブウーファー）



Signal flow:

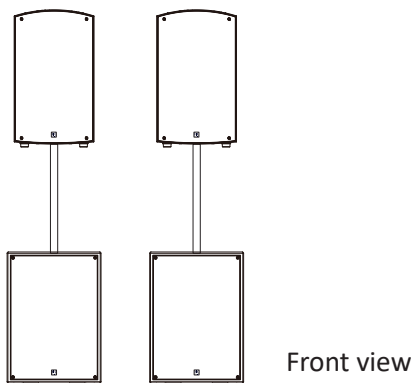
External mixer Out L/R	B	SONAR Sub In L/R
SONAR Sub Thru L/R	B	2x SONAR Xi Line In

Settings:

MODE	Normal
X-OVER	SONAR (or set the frequency to match other speakers)
Further settings as required	

※バランスの良い音像を得るために、サブウーファーを2本のSONAR Xiの間に配置してください。

② ハーフスタックシステム（2台のサブウーファー）



Signal flow:

External mixer out L/R	B	2x SONAR Sub In (L or R each)
2x SONAR Sub Thru (L or R each)	B	2x SONAR Xi Line In

Settings:

MODE	Normal
X-OVER	SONAR (or set the frequency to match other speakers)
Further settings as required	

4. 製品仕様

Model	SONAR 115 Sub D
最大音圧レベル (ピーク @ 10 % THD) ハーフスペース	125 dB
最大音圧レベル (計算値) ハーフスペース	128 dB
周波数レスポンス +/- 3 dB	40 Hz – X-Over
周波数レスポンス -10 dB	36 Hz – X-Over
アンプ出力 (ピーク)	1500 W
アンプタイプ	Class D
アクティブ保護回路	熱及び過負荷保護, サブソニックフィルター, ピーク +RMS リミッター
LF ドライバー	1x 15", 3" ボイスコイル
アクティブクロスオーバー周波数	60 – 150 Hz, 調整可
ディスプレイ	2.2" LCD
アナログ入力	2x XLR コンボジャック
アナログ出力	2x Thru (XLR バランス)
セットアップモード	Cardioid Front, Cardioid Rear, SONAR
DSP 機能	Bass Boost, Polarity, X-Over, Delay, Front LED, Display Dim, Reset
ディレイ	0-10 m
消費電流	1.6 A / 100-120 V AC
ポールマウント	1x M20
キャリングハンドル	2x Multigrips
キャスター	オプション
エンクロージャー	木製
フィニッシュ	ブラック塗装
フロントグリル	メタル
寸法 (WxHxD)	43 x 61.2 x 61.6 cm
質量	28.4 kg

5. 製品保証について

当製品の保証期間はご購入後3年間です。

HK AUDIO の web サイトにてオンラインユーザー登録を行うことによって、2年の延長保証を付与いたします。合計5年の保証期間となります。

以下 URL よりご登録手続きください。

<https://hkaudio.com/warranty-registration/>

保証登録は、ご購入日から30日以内に行われた場合のみ有効です。

HK AUDIO 保証規定

当説明書の記載に基づき、正常な操作を行い、通常状況の使用時に発生した故障について、保証修理対応いたします。

なお、下記に該当する場合は、保証規定対象外として有償修理対応となります。

- ・ 消耗部品（スピーカーユニット、ツイーターユニット、ヒューズ等）の交換が必要になる場合
- ・ 不適切な取り扱いや、異常電圧、過大入力、過大音量が原因で生じた故障（スピーカーユニット、ツイーターユニットの焼損、破損を含みます）
- ・ 弊社以外での修理や、改造がなされている場合
- ・ 落下や転倒等による外部衝撃及天災が原因となる故障
- ・ 液体等の異物が製品に流入、付着したことが原因となる故障
- ・ その他、メーカー判断により保証対象外とみなされる原因による場合

当保証は新品購入のファーストユーザー様のみ適応となります。製品を譲渡された場合、保証を引き継ぐことは出来ません。

保証修理の際には、当取扱説明書及びご購入履歴が必要となります。

ご購入時の確認メール、納品書は大切に保管ください。

使用方法、故障などでお困りの際は、以下の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

ヒビノ株式会社 カスタマーサポート

TEL：03-5419-1550 メール：marketing@hibino.co.jp

※受付時間：月～金曜日 9:30～18:00（祝祭日及び弊社指定休日を除く）

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノ株式会社 EC事業統括部

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

TEL: 03-5419-1550 FAX: 03-5419-1565

<https://www.hibino.co.jp/> E-mail: fullten@hibino.co.jp